

■朝鮮奨学会奨学生 募集



朝鮮奨学会は、日本で勉強している韓国人・朝鮮人学生を支援する奨学育英事業団体です。当会は、110年の歴史があり、在日同胞が所属する団体や思想、信条の違いなどを超越し、日本の学識経験者とともに理事会・評議委員会を構成した同胞学生のために運営されています。奨学金の財源は、本国の南北から援助を受けず、東京の新宿・代々木・大阪に所有するビルの収益で運営されています。

1. 応募資格

■高校生

- ①日本の各高等学校に在学している韓国・朝鮮人学生
- ②成績が3.0以上であり、学費の支弁が困難な者
- ③他の同胞奨学機関から奨学金を受けていない者
- ④2011年4月1日現在25歳未満の者（継続応募者除外）

■大学生・大学院生

- ①日本の大学の学部（短期大学も含む）及び大学院の正規課程に在籍している韓国・朝鮮人学生
- ②成績が3.0以上であり、学費の支弁が困難な者
- ③他の同胞奨学機関から奨学金を受けていない者
- ④学部生の応募は2学年以上
- ⑤2011年4月11日現在、学部生は30歳以上、大学院生は40歳以上は応募できない。

2. 募集期間

2011年4月1日（金）～5月10日（火）

3. 奨学金額

3. 奨学金額 高校生 月額10,000円×12カ月 大学生以上は別額（希望者は毎年申請しなすこと）

4. 募集人数

4. 募集人数 1,000名 （詳しくは支部までお問い合わせください。）

◇民団創団65周年・MBC創立50周年 ハンマダン・大阪 開催

■開催日：2011年5月22日（日）

■会場：大阪城公園『太陽の広場』

■内容：出店（韓国物産品）
舞台（韓流歌手・韓国舞踊等）

（東北関東大震災により趣旨はチャリティーに変更の予定）
（天阿支部も2店出店の予定）



韓国語講座 受講生募集

- 開講日：4月26日（火） スタート
- 教室：天阿支部4階
- 回数：全16回
- 受講料：1万5千円 別途テキスト代2千円（高校生8千円）
- 受講日：毎週火曜日 18:30～19:45 初級（会話・短文）
20:00～21:15 中級（会話・文法）
- 毎週木曜日 18:30～19:45 入門A（初歩の初歩の発音・読み書き）
20:00～21:15 入門B（初心者対象の会話・基本文法）
- 講師：ネイティブな先生です。発音もしっかり練習できます。
- その他：各クラスとも、受講生が5名以下の場合には不開講とします。

会話教室開講
予定！近日案内

支部より
お知らせ

今月は団費請求書も同封いたしますので、よろしくお願ひいたします



皆さまに支えられて、天阿支部は42年。
似ていることは、嬉しい。
ちがうことは、楽しい。
共生の深化を、めざして。

MINDAN TEN - A

News Letter

天阿 だより

在日白書

総人口 578,495人
東京 114,273人
大阪 129,992人
2010年度（朝韓籍含む）

民団本部数 48本部
支部数 290支部
団員世帯数 88,497世帯
2009年12月現在



在日本大韓国民団 天阿支部
〒545-0001 大阪市阿倍野区天王寺北2-3-8
Tel. 06-6713-3505 Fax. 06-6713-3507
E-mail: welovetena@osaka.zaq.jp

INDEX

巻頭言	1頁
『旅に出よう』	2頁
連載 天阿想風	3頁
活動報告	3頁
お知らせ	4頁

2011年3月31日発行

No. 21

■天変地異 3.11

東北、関東地方に数百年単位（あるいは千年単位）の大災害が発生しました。

また、絶対に起こしてはならない原発事故も併発し、近隣地域への放射能汚染が拡大するという状況にあります。

災害は人々のつながりや絆を瞬時に断ち切ります。被災者の方々の現状や、心情を思うと本当に心が痛みます。

私たちも何かをせずにはおれません。多くの国や人々が復興に尽力しています。

天阿支部も「共生」の理念の下、支援活動を行います。

団員の皆様のご協力を宜しくお願ひ致します。

犠牲になられた方々のご冥福をお祈りすると同時に、被害に遭われた全ての方々にお見舞い申し上げます。



■プロセス無用 3.26

年に一度の定期地方委員会が本部にて開催され、注目は何と言っても「選挙人制度の導入」でした。主目的は団員の民団離れを防ぎ求心力を高める・・・（今更、三機関長選挙に参加する権利を付与されたからといって団員の意識が大きく向上するとは思えませんが）、民団再生の一案として2年前より実行案の議論が始まりました。

プロセスは、いわば下から意見を集約し、決議し、順次上部機関に上程していくのです。そして最終決定は本部三機関長会議に於いてなされます（勿論多数決ですが）。

一見民主主義的に見えますが他方、独善的（最初に結果ありき）になる要素を強く含んでいます。結果から言いますと後者の色合いが非常に強い大会となりました

解りにくい経緯、上意下達にも似た悪しき慣習、現実に対応出来ない難解な規約

此処にも民団離れの一因が有るように感じます、本末転倒、このプロセスは改めなければなりません。

2012年に発足するであろう新三機関に強く要望します。

支団長 金 致明
外 役員一同

ここ 東日本大震災 義捐金 募金 及び救援ボランティア登録のお願い

3月11日14時46分に東北から関東北部にかけて史上例をみない大地震（マグニチュード9）により甚大な被害を受けました。さらに津波による福島原発事故で緊急避難の為、救援活動も制限されています。民団も中央本部を中心として大阪本部にも対策本部を立ち上げ、義捐金、ボランティア登録を受け付けます。国籍・民族を超え、被災者支援と被災地復興の為できる限りの支援をすることとなりました。近日中に「お知らせ便」にて支部より義捐金のお願いを送付致しますのでよろしくお願ひいたします。

天阿想風

この想いが風に乘って、皆さんに届くことを願っています

国難に向かって一致団結を！



監察委員 金東佑

3月に入り、次の「天阿便り」の資料集めに忙しくしていた。3月11日の昼ごろ、やっと書き上げ、ほっと一息ついたところだった。だが、その苦労は一瞬にして吹っ飛ぶ。午後2時40分、自宅のソファでテレビを見ていた私は軽いめまいを覚えた。東日本に大地震到来！！



地震の揺れもさることながら、画面に流された津波の圧倒的な脅威はあらゆる言葉をもかき消し、人々をすくませる。父祖から受け継いだ故郷の惨状を垣間見た被災者の心情はいくばくか。凍てついた避難所で、家族の安否を気遣う人々の涙のため息は白い色を通り越し、血の色に染まるのか。

しかし、悲惨づくめの現状でも、いつまでも途方に暮れているわけにもいかず、周りを見渡し一筋の光を探し求めてみる。ところが簡単に探し出せるはずもなく、延々と続く涙のため息の連鎖。そんな中、いろいろな識者の意見に気になるものが二つあった。

一つは、今話題の石原都知事。「これは天罰だ！神が私欲と成金主義にぶくぶくに膨れ上がった日本人へ試練を与えたのだ。津波を利用して、我欲を洗い落とすしかない。」いかにも彼らしい言い方だが、被災者の心情を思うと、痛みのわからない傲慢な言い回しに思わず虫唾が走る。もう一人が、JALの再生を任された、京セラの創業者の稲盛氏。「あえて困難を自ら作り出して、官民一丸となって克服しなければ、日本の再生はないのではないか。」ナショナルフラッグを掲げたJALの再生に当たり、その困難さが、日本人の墮落とエゴイズムに起因すると、何度も煮え湯を飲まされた結果、行きついたのであろう。両者とも似て非ではあるが、含蓄のある言葉だ。

立場こそ違おうが、我が国においては、90年代の「アジア危機」がそれに準ずるのではないか。国の破たんが叫ばれた中、国中の婦人たちが自らの貴金属を供出し、まさに官民が一体となって困難に立ち向かった。失うものが何もなくなった人々の、「火事場の馬鹿力」の終結しか特效薬になりえない！

今、新聞紙面には、「日本」「日本人」の文字が躍っている。今まで私を含めた皆さんは、それに右傾斜化された民族主義を感じられて、吐き気さえ覚えられたのではないか。しかし、あの日から私にはこの言葉から熱いものが沸き上がるのを抑えることができない。

「がんばれ！ニッポン！！」若者よ！今こそチャンスだ。

生きがいと人間性を見出すチャンスだ。この困難に立ち向かえ！！



■天阿想風への投稿をお待ちしております。内容は問いません。自由な意見をお寄せください。(匿名でもかまいません)



『旅に出よう』

顧問 梁廣相(柳川)

「少子・高齢化」社会と言うと、高齢者だけが増え、衰退した社会の悪の根源の様に受け取られる様な様々。年金を全額までもに受け取る方が悪いみたいと言われるが、税金も社会保険料も介護保険まで全部天引きされ、正直に納めてきた世代が、厄介者扱いされる謂われはない。

戦後一貫して、近経学者は何でも値上がりする故、買って置けとそそのかし、不動産屋と株屋は土地・株をまるで「打ち出の小槌」の様に勧めた。銀行屋も歩積み両建てで、われ先にと預貯金をかき集め大量に融資したのである。誰もがグラフの右肩上がりを疑わず、人口動態ですら増加の一途を辿るものと錯覚して居た。戦後の日本人すべてが経済の永遠の繁栄を信じてうつつを抜かし過ぎていたのだ。

それにしてもバブル期には「あっぱれ企業戦士」だと

「ほめ殺し」の目に遭い、不況になると「働き中毒」とか、「後進に道を譲れ」と言われ、手に馴染んだ仕事から勇退を余儀なくされた人は多い。知恵も技も経験の揃った人たちが活用出来ない社会は何処かおかしいと思うが、如何なものか。

さてよく考えれば、自分の人生は自分だけのもの。働くだけが人生ではない。

インド人は三千年前に人の一生を四つのステージに分け、その生き方を教えている。

宗教学者、山折哲夫氏の著書「林住期を生きる」をお借りすると、第一は学生(かくしゅう)期。何事にも師について学び、技を習得し、ストイックな生活を送る青春時代だ。

第二は「家住期」。結婚して子供を作り職業に専念する時期。隣近所との付き合いを大事にし、先祖を祭って家庭を維持する。以上は普通の世俗的なライフスタイルだ。

重要なのは第三の「林住期」だろう。経済と家庭の安定を得た後、家を出てやりたい事をやる時期のことである。慰めと珍しい出会いを求める旅に出るのが好ましいと云っている。

最後の「遊行(ゆぎょう)期」は我々凡人には無理。釈迦やガンジー、西行など聖人にお任せしよう。

林住期はいわば「不良老年の家出期」。癒しに金が尽き、家族が恋しく成れば帰って来れば良いのだ

さあ、吾々も少なからず人生の黄昏どきと遭遇して居るこの林住期を大いに楽しみ、妻子や孫に自慢話や失敗談を聞かせる為にも小さな旅ぐらいは一緒に出ようではありませんか。



*お詫び: 上掲「旅に出よう」は、前号にも掲載いたしました。編集上の手違いがあり全文掲載できませんでした。あらためて掲載いたします。

天阿 Topics

★活動報告

天阿支部2011年新年会開催

2010年1月19日(水)、シェラトン都ホテルにて天阿支部新年会を開催しました。例年通り天王寺区長、阿倍野区長がご参加され45名が集いました。



左より、村山晋一 阿倍野区長、谷川友彦 天王寺区長、金致明 支団長

大阪市議会選挙

大阪市議会選挙 民主党候補 奥村しんご

天阿支部は、奥村しんごさんを応援、推薦します！

1. 在日韓国、朝鮮人に対する人権問題に取り組みます。
2. 年金など、社会保障制度で、不利な扱いは是正に取り組みます。
3. 入学時に不利な扱いを受ける事もありますので、その点についての問題解決に取り組みます。

